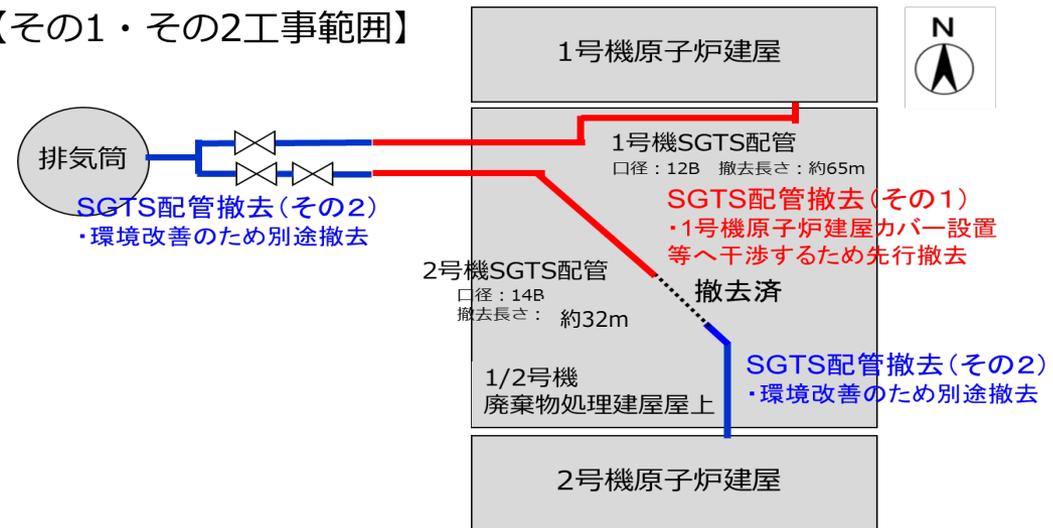


- 1・2号機SGTS配管の切断装置については、3月6日までに構外モックアップ施設での配管切断装置のモックアップ試験が完了したことから、3月6日午後6時ごろ同施設を出港し、3月9日午前8時ごろ福島第一原子力発電所に到着しました。また、陸上輸送した機器についても3月9日までに、福島県内の試験場に到着しました。
  - 3月13日、SGTS配管撤去に係る配管のウレタン除去準備作業で負傷者が発生したことから、SGTS配管撤去に係る全ての作業を中断しておりましたが、災害発生原因の分析および再発防止対策をまとめたことから、3月27日より準備作業を再開しています。
- [<3月27日までにお知らせ済み>](#)

- SGTS配管撤去(その1)再開に向けた準備作業が4月17日までに完了する見込みであることから、気象条件が整えば4月18日からSGTS配管撤去作業を再開する予定です。
- 作業にあたっては、ダストモニタにおいてダスト濃度等を適切に監視しながら、周辺環境および作業員へ影響を与えぬよう、安全最優先に慎重に作業を進めてまいります。

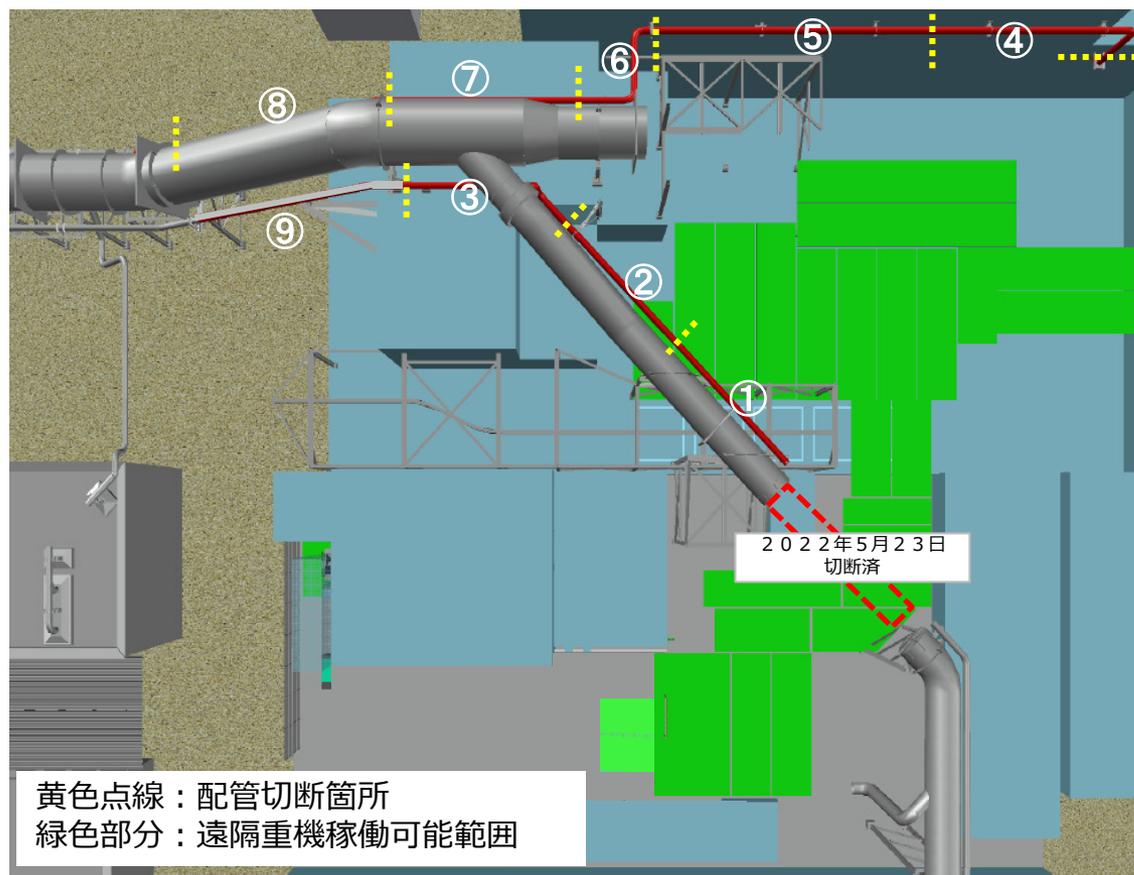
【その1・その2工事範囲】



## SGTS配管撤去（その1）の配管切断箇所

- SGTS配管撤去（その1）では9本のSGTS配管を撤去する予定です。
- SGTS配管撤去作業再開後は、配管切断⇒切断装置の段取替え⇒配管サポート切断※の順番で作業を進め、3日に1本、SGTS配管を切断する予定です。
- なお、⑨については、SGTS配管が廃棄物処理建屋建造物と干渉していることを、3Dスキャン採取時に確認しました。建屋干渉物撤去には周辺ガレキの撤去が必要であるため、工程組み替えを行いガレキを撤去した後に、建屋干渉物の撤去及びSGTS配管の切断、撤去を行う予定です。また、⑨は1号機大型カバー設置工事と干渉がないことを確認しています。

※配管サポート：SGTS配管を支える部材



## 【参考】1・2号機Rw/B上部のSGTS配管撤去の信頼度向上対策

### リカバリー対策

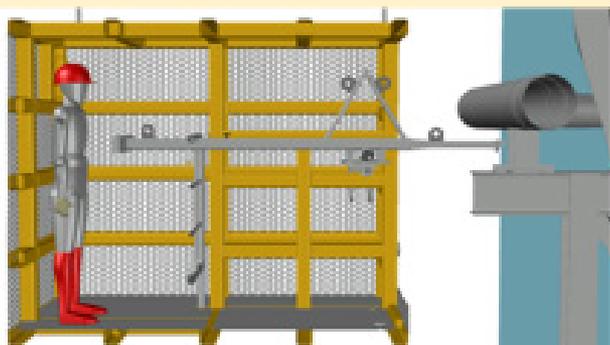
対策① ワイヤソー切断で噛み込みが発生した場合、配管の残余分を吊天秤に追設した高出力グラインダーにて切断。

対策② 1 / 2号機Rw/B上部のガレキ撤去が完了している箇所から、地上重機による切断を準備。

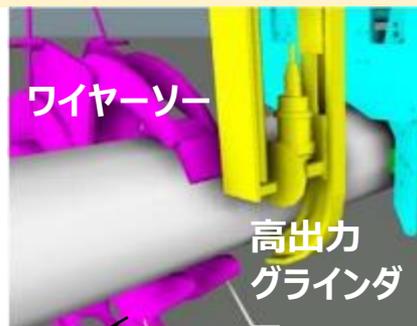
対策③ Rw/B上部からアクセス可能で地上重機のアクセスが難しい箇所には高所作業車※による切断を準備。

対策④ 地上重機のアクセスが難しい箇所には、搭乗設備※による切断を準備。

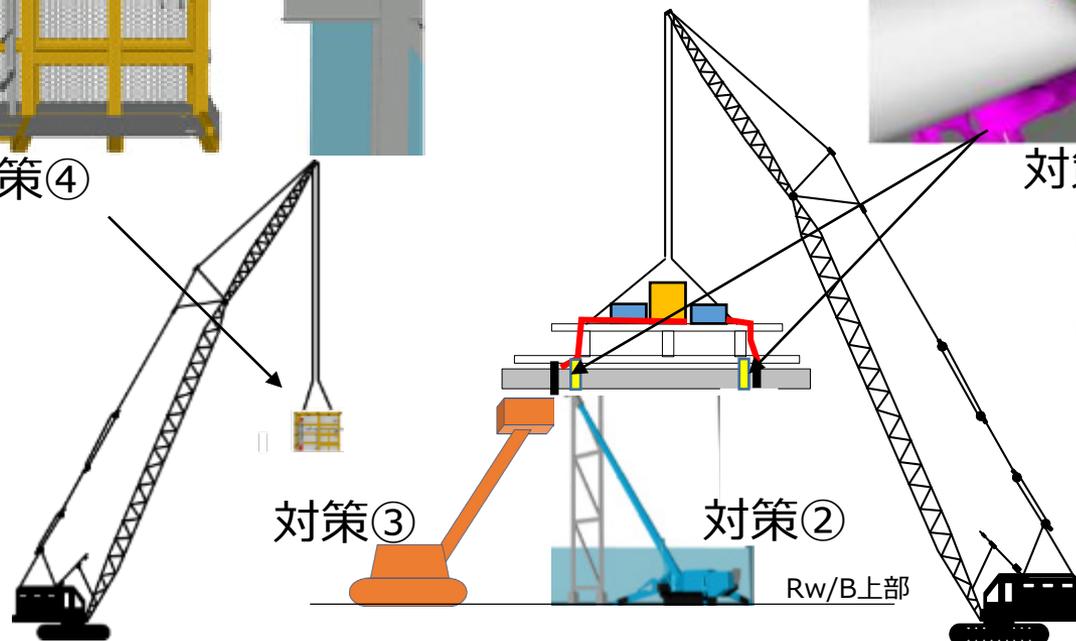
※：高所作業車の作業員搭乗部分および搭乗設備には鉛遮へいによる被ばく防止対策を実施。



対策④



対策①



600tCC

1250tCC

地上部

- 対策①→②③または④の順番で実施。
- 対策④を実施する際は労基への届け出が必要。(事前説明を実施済み)  
また、事前の安全確認および被ばく線量管理を行う。

## バックアップ切断手段のモックアップ実施状況

➤ 配管切断時に噛みこみが発生した際のバックアップ切断手段について、実装備※を着用したモックアップを福島県内の構外施設で実施。

① 地上重機 : 4月4日

② 搭乗設備 : 4月4日

③ 高所作業車 : 4月7日

※福島第一構内で作業する際に着用する装備：全面マスク、タイベック、綿手袋+ゴム手袋(2重)



①地上重機



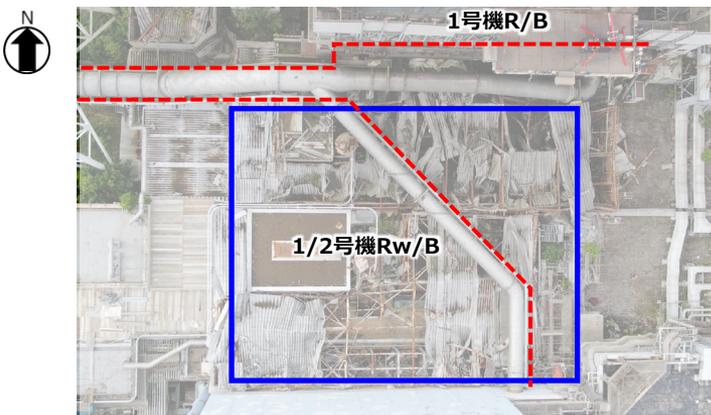
②搭乗設備



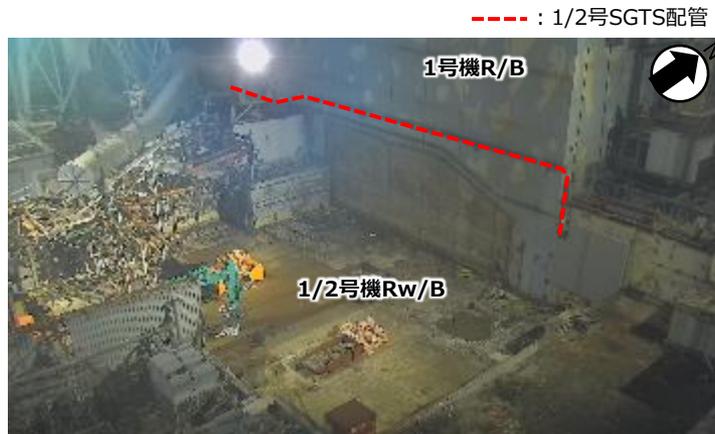
③高所作業車

# 介錯ロープを使用した吊天秤の寄り付き補助について

➤ 吊天秤の配管への寄り付きについては、当初遠隔操作のみを計画していたが、Rw/B上のガレキ撤去が進捗したことにより人のアクセスが可能となったことから、強風等により遠隔操作での寄り付きが困難な場合には、介錯ロープ等による人の介助を実施する計画に変更した。



ガレキ撤去前 (2020.6)



ガレキ撤去後 (2023.4 : 作業は継続中)

- 【作業計画】
- 介錯ロープによる補助体制  
作業班 : 2~4人×1班
  - 計画線量, APD設定値  
計画線量 : 3.5mSv/日・人  
APD設定値 :  
ガンマ3.0mSv/日  
ベータ5.0mSv/日



